

第1回ルート検討委員会(小松拡幅)

平成30年12月28日

1. 概要・経緯	・・・	1
2. ルート検討委員会手続きの進め方	・・・	6
3. 地域の現状と課題	・・・	8
4. 政策目標の設定	・・・	14
5. 複数案の比較・評価	・・・	18
6. 地域への意見聴取方法	・・・	25

1 概要・経緯

1 概要・経緯

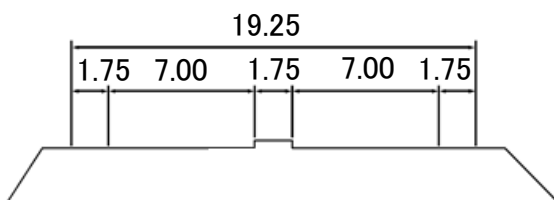
- 小松拡幅は、国道161号の交通混雑の緩和、交通安全の向上を目的とした事業。
- 現在、全体延長6.5kmのうち、1.0kmが4車線で開通。

▼計画諸元

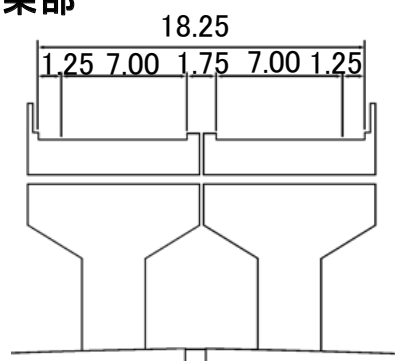
計画延長	6.5km
車線数(幅員)	土工部:4車線 (W=19.25m) 高架部:4車線 (W=18.25m)

【標準断面図】

○土工部



○高架部



単位【m】

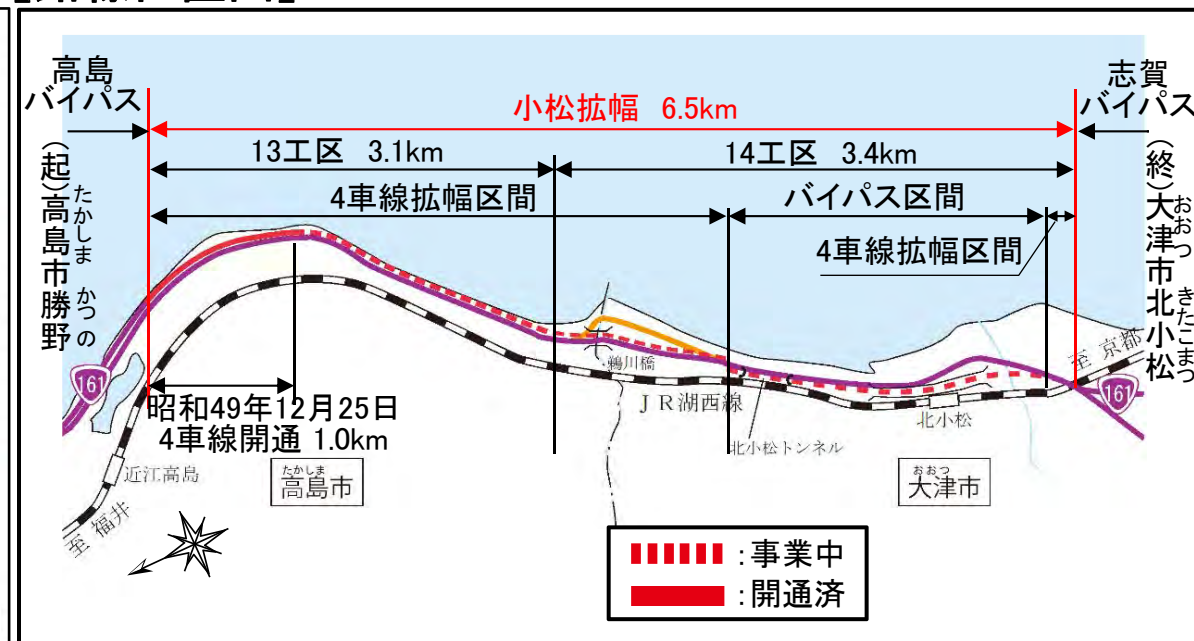
▼事業の経緯

昭和40年5月30日	補助国道から直轄指定区間に編入
昭和45年	小松拡幅事業化
昭和45年	用地取得
昭和47年～49年	工事着手（161号に並行する江若鉄道敷を事業用地として取得し、歩道等を整備）
昭和49年12月25日	一部 4車線開通 1.0km
昭和50年4月18日	都市計画決定（大津市北小松 延長3.2km）
昭和51年5月10日	都市計画決定（高島市勝野～同鵜川 延長3.3km）

【広域図】



【路線位置図】

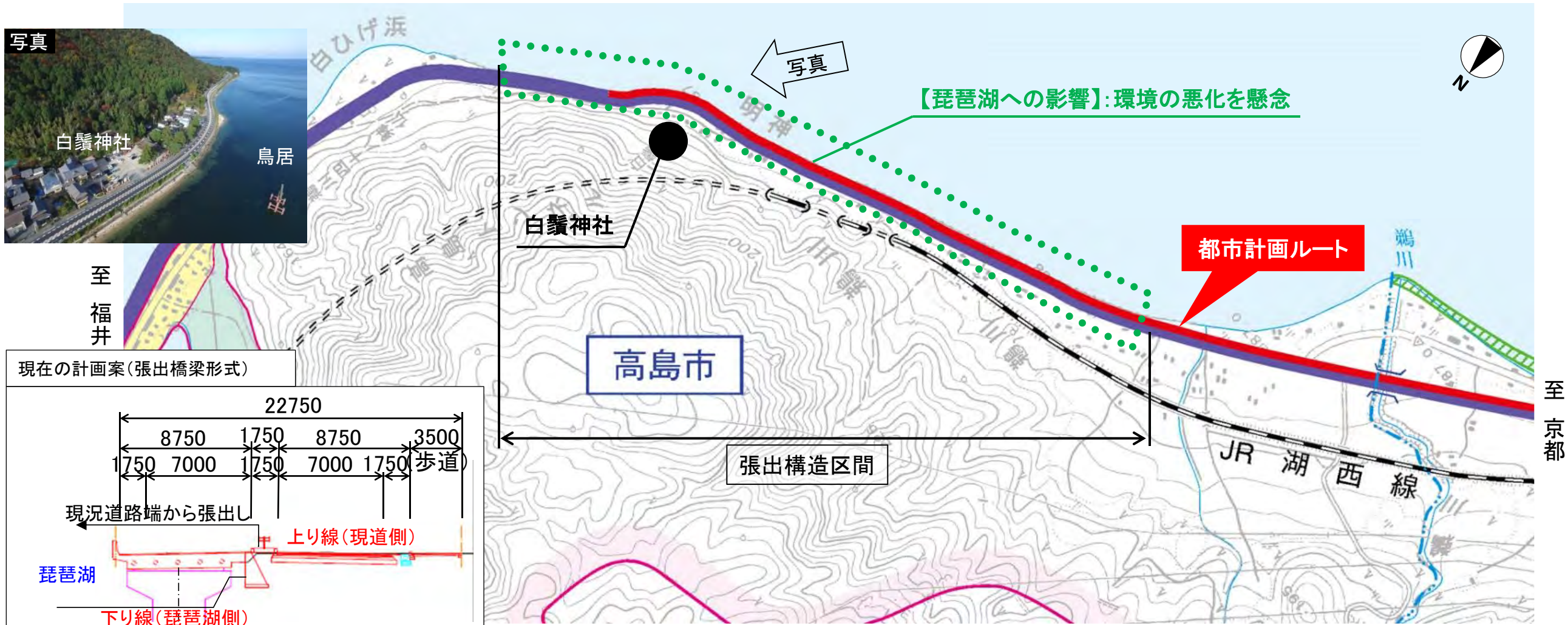


【現況写真】



○琵琶湖保全再生計画の中で、「景観の整備および保全に関する事項」の中で「琵琶湖を中心とした景観の整備および保全」に関する事項があり、現ルートでの構造物の設置は、湖岸の景観に影響があり極めて困難。

○また、「生態系の保全および再生に関する事項」の中で「湖辺の自然環境の保全及び再生」に関する事項があり、現ルートでの構造物の設置は、砂浜や湖岸への影響があり極めて困難。



■現都市計画における琵琶湖の保全再生に関する基準等の背景

- ◆琵琶湖の保全及び再生に関する法律
(平成27年9月28日施行)
- ◆琵琶湖の保全及び再生に関する基本方針
(平成28年4月21日施行)
- ◆琵琶湖保全再生計画
(平成29年3月30日策定)

■琵琶湖の保全及び再生に関する法律の概要

目的(第一条)

国民的資産である琵琶湖を健全で恵み豊かな湖として保全及び再生を図り、もって近畿圏における住民の健康な生活環境の保持と近畿圏の健全な発展に寄与し、あわせて湖沼がもたらす恵沢を将来にわたって享受できる自然と共生する社会の実現に資する。

■琵琶湖保全再生計画(滋賀県)(第3条)

- ◇琵琶湖の保全及び再生のための次に掲げる事項
 - ・水質の汚濁の防止及び改善に関する事項
 - ・水源の涵養に関する事項
 - ・生態系の保全及び再生に関する事項
 - ・景観の整備及び保全に関する事項
 - ・農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項

1 概要・経緯(ルート構造の検討に至った経緯：日本遺産と観光)

- 国道161号沿道には、平成27年4月に日本遺産に認定された白鬚神社が存在し、観光客が増加。(約19万人/年)
- 白鬚神社前では、鳥居の写真撮影をするために観光客の横断が多く非常に危険な状況

▼白鬚神社と国道161号の位置関係

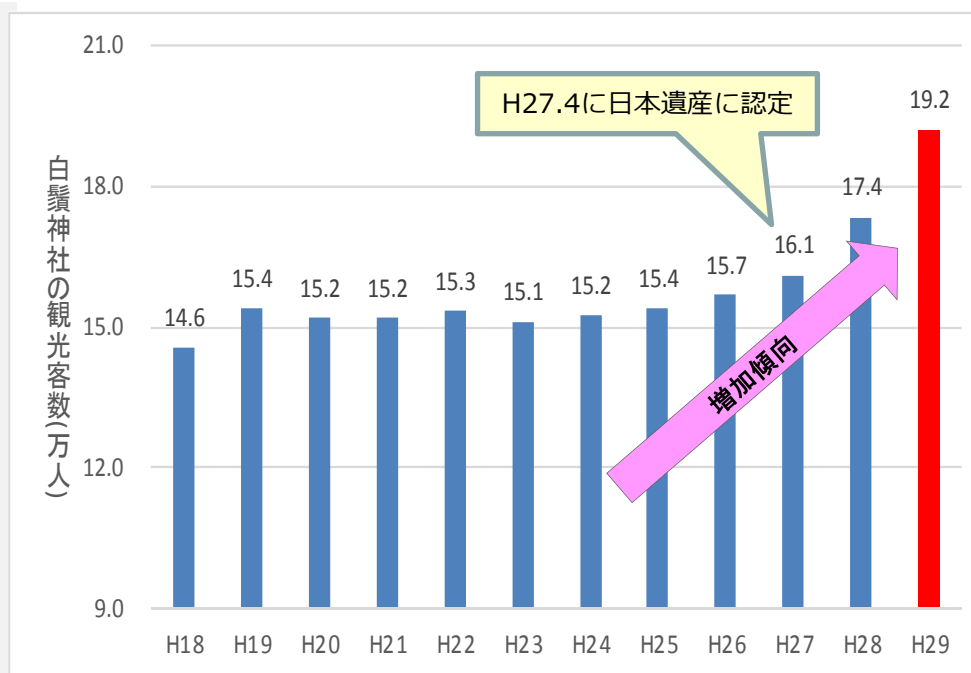


▼白鬚神社概要

平成27年4月に「琵琶湖とその水辺景観」として白鬚神社が日本遺産に認定されました。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。白鬚神社は近江最古の社で、境内には与謝野鉄寛・晶子の歌碑や松尾芭蕉の句碑があります。毎年9月5・6日の「秋大社（白鬚まつり）」には京阪神から多くの参拝者で賑わいます。



▼白鬚神社の観光入込客数



▼白鬚神社の鳥居の風景(日本遺産滋賀HP)



▼現地状況（観光客の往来・駐車場の利用状況）



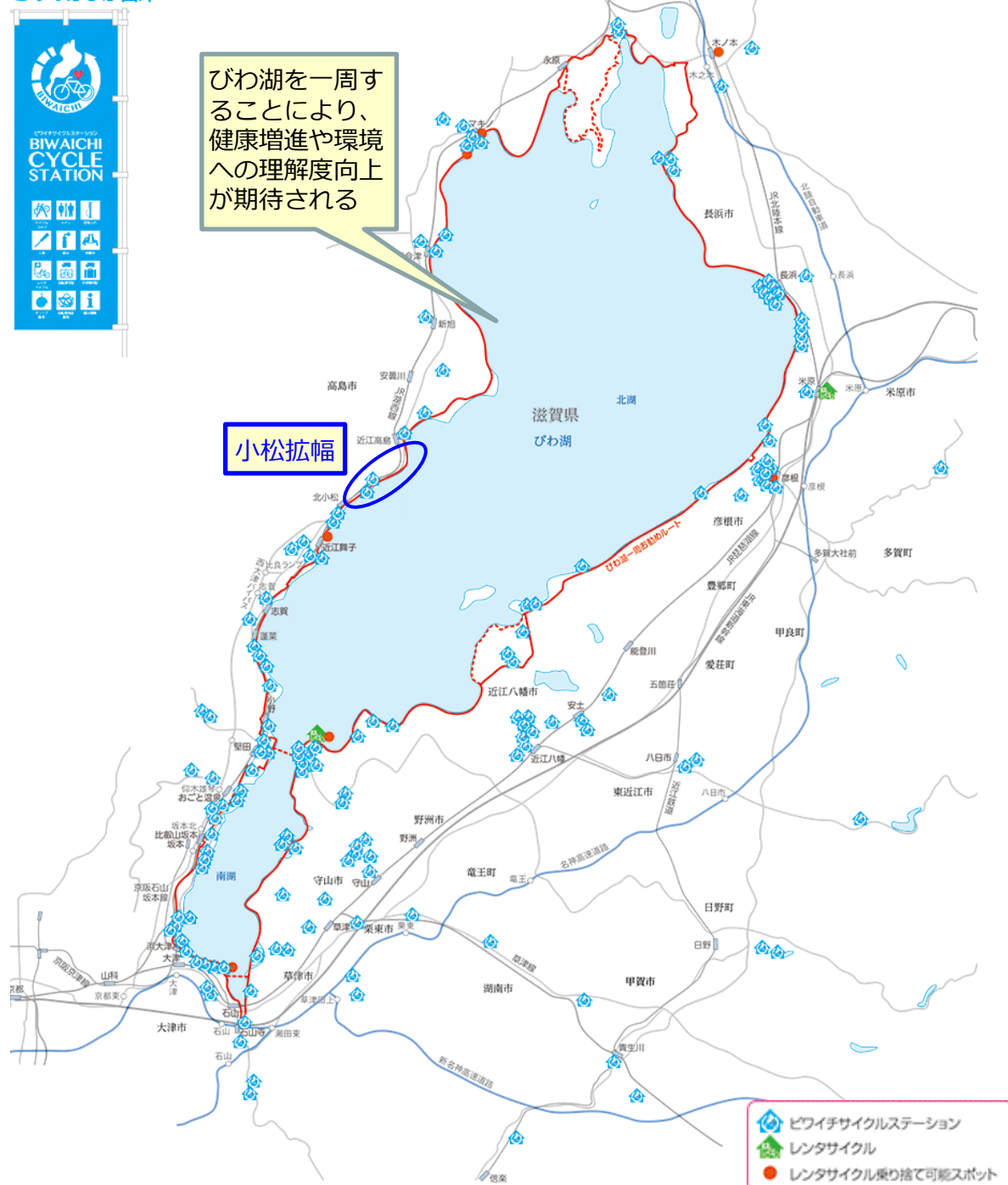
※撮影日：2017年5月21日（日）

1 概要・経緯（ルート構造の検討に至った経緯：ビワイチ）

- 滋賀の素材・魅力磨き上げプロジェクトの一つとして、平成28年度にビワイチ推進プロジェクトが指定された。
- 自転車利用が進むことにより、地域経済への波及効果はもとより、交通アクセスの利便性向上、環境への理解、健康な社会の構築など、幅広い分野での効果が期待される。
- また、豊かな自転車ライフ創出に向けて、安全・安心に自転車を楽しむために必要な基盤となる道路空間の整備が求められる。

▼びわ湖一周サイクリングサポートステーションマップ

こののぼりが目印



出典：安心・快適ビワイチサポートプロジェクトHP

▼びわ湖一周サイクリングの目的

■健康社会の生涯スポーツとして

- 各種ライドイベントの広報等応援
(ビワイチロングライド、ツール・ド・湖北、高島ロングライド)
- サイクルラック等、駐輪設備設置促進
(サイクルラック設置：H28：38カ所⇒H29：43カ所)

■安心・安全なビワイチ環境づくり

- 湖岸緑地等における休憩拠点づくり(調査検討)

■ビワイチの楽しみ方を広げる

- 「ビワイチ」レンタサイクル拠点の設置の促進
(H28：2カ所 ⇒ H29：3カ所(民間整備含む))
- 湖上交通を活用したショートビワイチの提案

■琵琶湖の保全・再生への意識向上

- 「ビワイチ」を通じ、国民的資産と位置付けられた琵琶湖の保全・再生への意識を高める

出典：滋賀県HP

▼びわ湖一周サイクリング風景



▼ビワイチ推進プロジェクト概要

都道府県名：滋賀県
作成主体名：滋賀県、大津市、草津市、
守山市、高島市、東近江市及び米原市
区域の範囲：滋賀県の全域

プロジェクト概要：

ハード・ソフト面において、**安全・安心に自転車を楽しむために必要な基盤や施設の整備**、人材の育成を加速し、幅広い利用者への自転車マナーやルール、リスク管理の徹底を図るとともに、観光コンテンツの魅力向上、周遊ルートの開発、発信を強化することで、ビワイチ・自転車観光の楽しさがいっそう県内外に浸透し、交流人口を増加させます。こうした取り組みにより、地域を活性化させるとともに、自転車を通じた琵琶湖と環境意識の高まりや、**健康的で「豊かな」自転車ライフを創出**することで、さらなる地域の活力につなげます。

出典：草津市HP

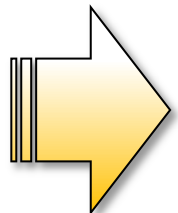
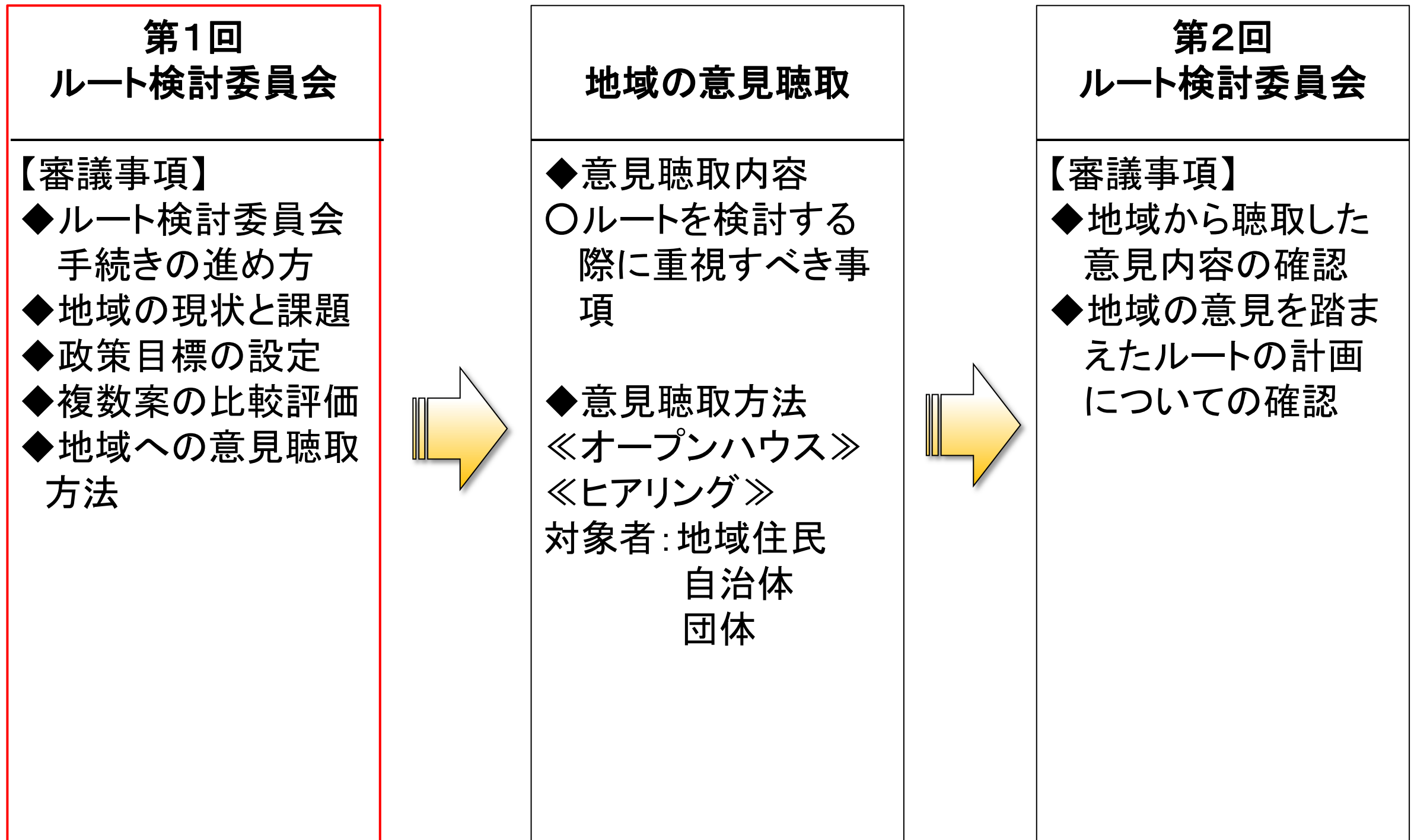


出典：草津市HP

2 ルート検討委員会手続きの進め方

2 ルート検討委員会手続きの進め方

【平成30年12月28日】

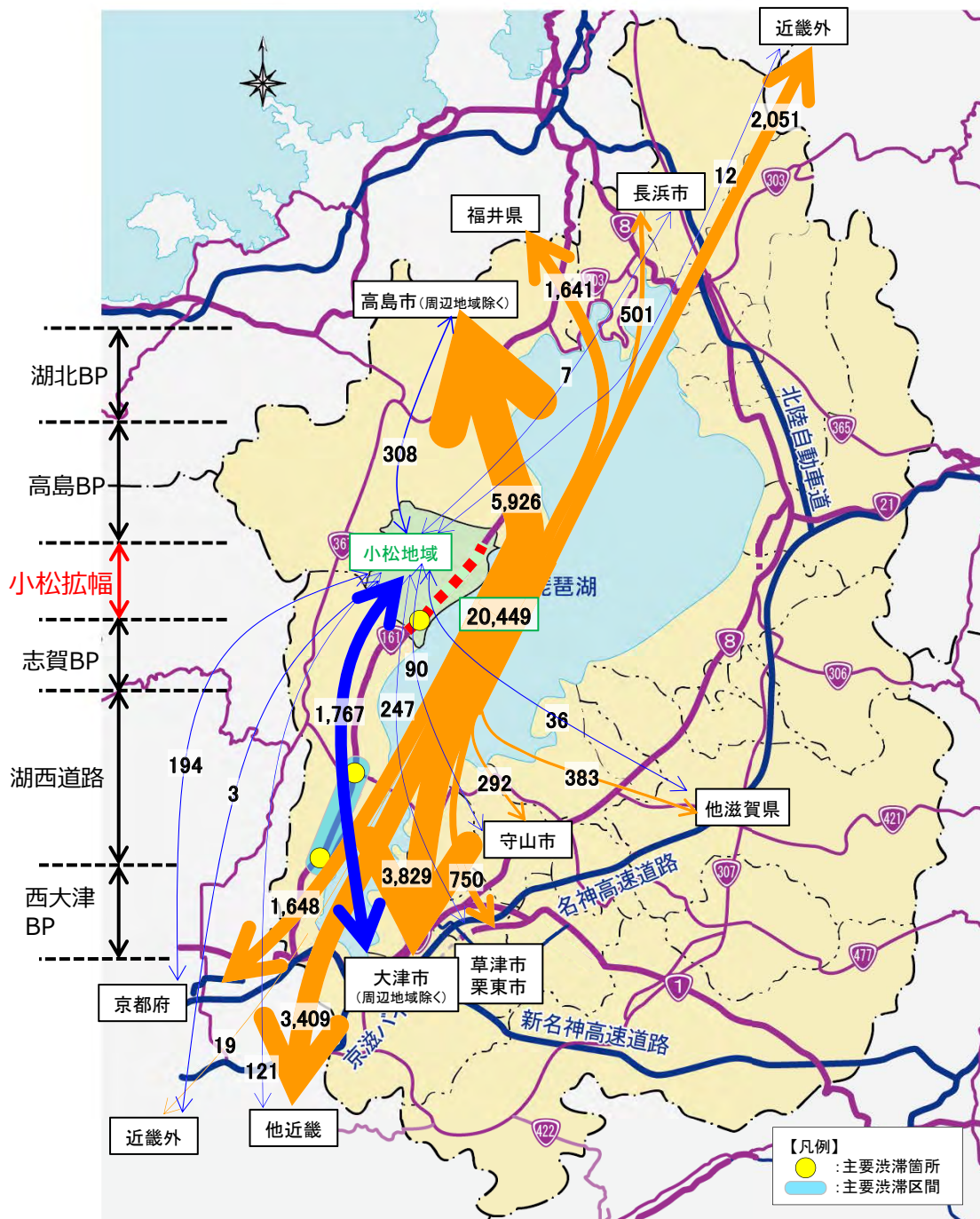


3 地域の現状と課題

3 地域の現状と課題<観光・渋滞>

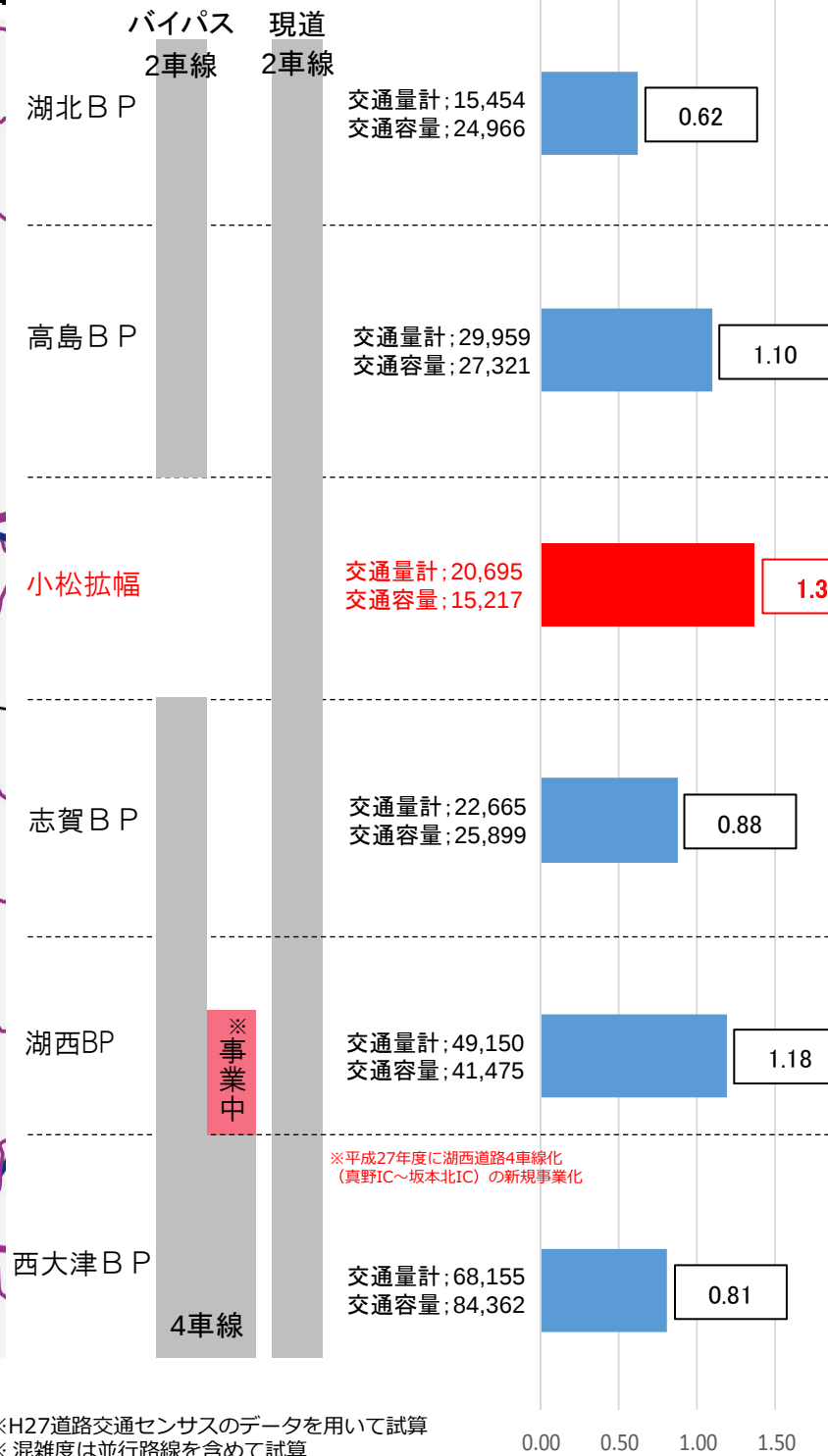
- 国道161号では、周辺地域を通過する交通が約9割を占めており、他地域を結ぶ重要な路線
- また、小松拡幅区間の国道161号は、唯一の現道2車線区間(ボトルネック区間)であり、通過交通の需要過多により、交通容量が約4割を超過
- 国道161号では、京阪神方面に帰宅する車両が多い休日の夕方の時間帯に渋滞が発生

▼国道161号小松拡幅区間を利用する自動車交通流動図

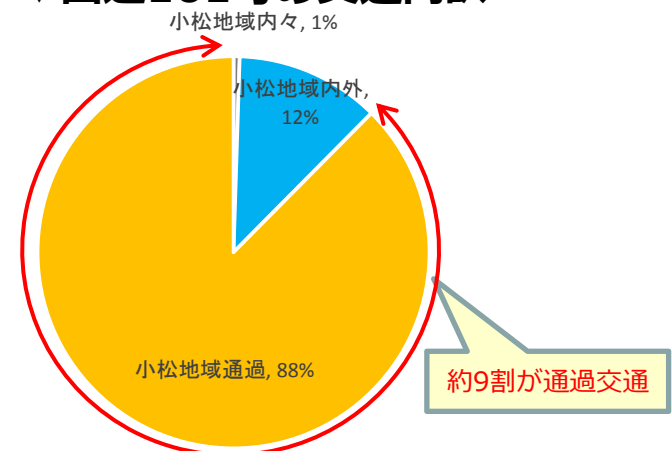


※小松地域：旧高島町・旧志賀町（北小松・南小松のみ）・・・【小松拡幅事業区間】
 ※他近畿：大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 ※近畿外：近畿地方、福井県を除く都道府県
 ※H27道路交通センサス現況ODを用いた交通量推計による試算結果（国道161号白鬚神社前断面でデータ抽出）

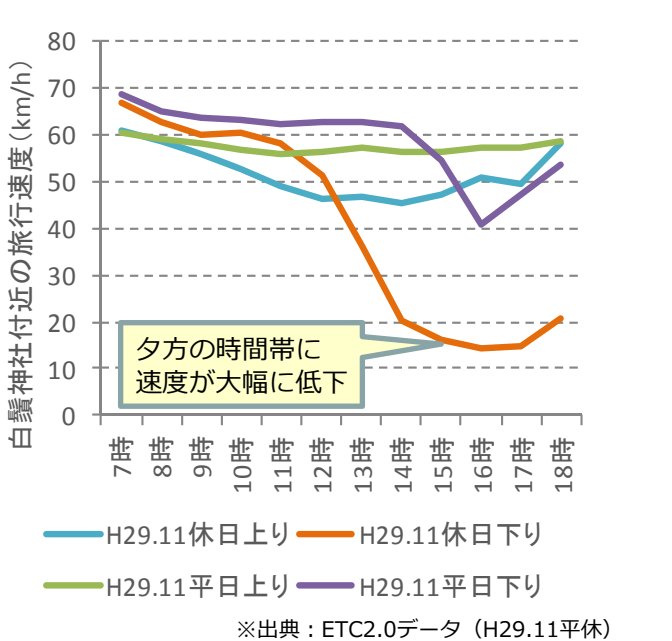
▼車線数及び混雑度



▼国道161号の交通内訳



▼白鬚神社付近での旅行速度



※H27道路交通センサスのデータを用いて試算
 ※混雑度は並行路線を含めて試算

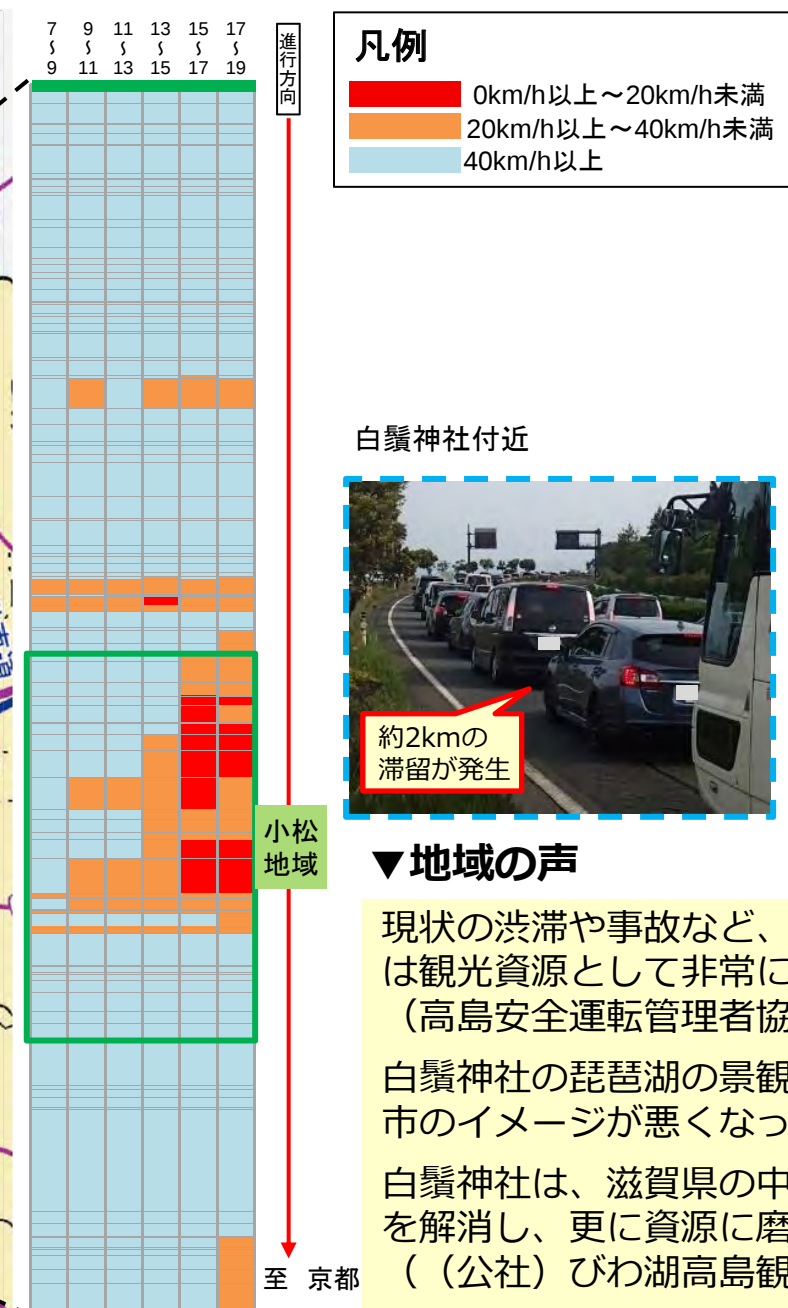
3 地域の現状と課題<観光・渋滞>

- 高島市は、重要文化的景観に全国唯一同じ自治体から3か所が選定されるなど自然景観が美しい地域であるとともに、白鬚神社、シコブチ信仰とともに日本遺産の構成文化財があり、観光資源が豊富。
- 滋賀県では、他府県と連携を図り周遊観光促進しており、観光客数は増加しているが、高島市では観光入込客数が伸び悩んでいる状況。
- 広域的な道路網において小松拡幅区間は、唯一の現道2車線区間(ボトルネック区間)であり、休日旅行速度の低下により、観光ポテンシャルが低下。

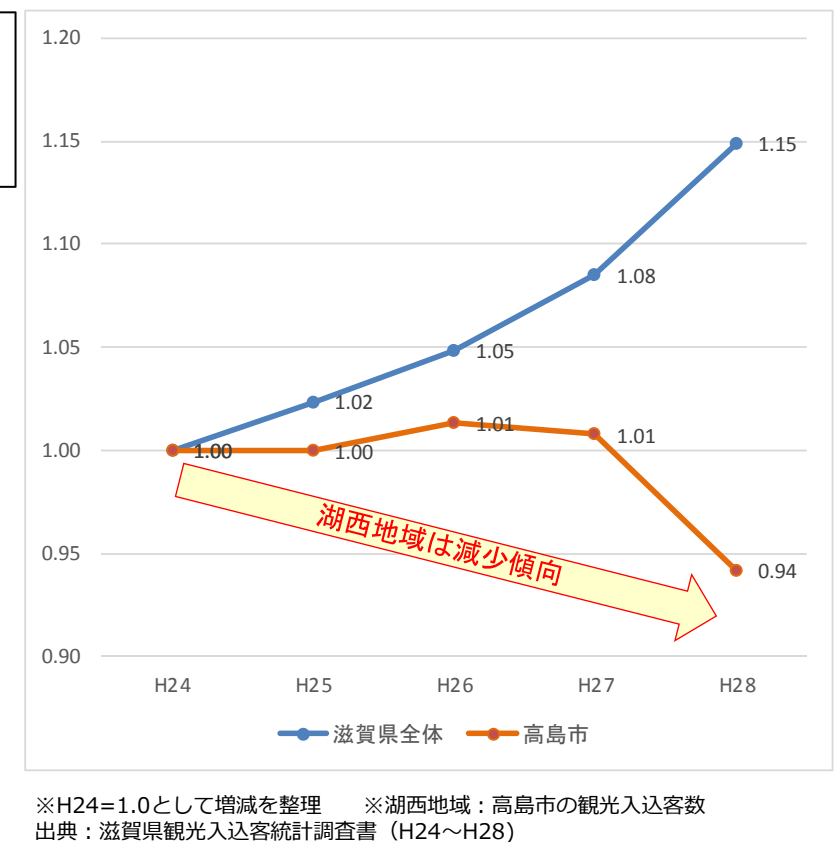
▼高島市の主な観光資源



▼小松拡幅区間下りの旅行速度



▼観光入込客数の推移の比較



▼地域の声

現状の渋滞や事故など、交通状況は無茶苦茶である。高島や白鬚神社は観光資源として非常に伸びしろがあるのにもったいない。
（高島安全運転管理者協会 会長）

白鬚神社の琵琶湖の景観は絶景であるが、観光地での交通状況で高島市のイメージが悪くなっている。（高島経済会 代表理事）

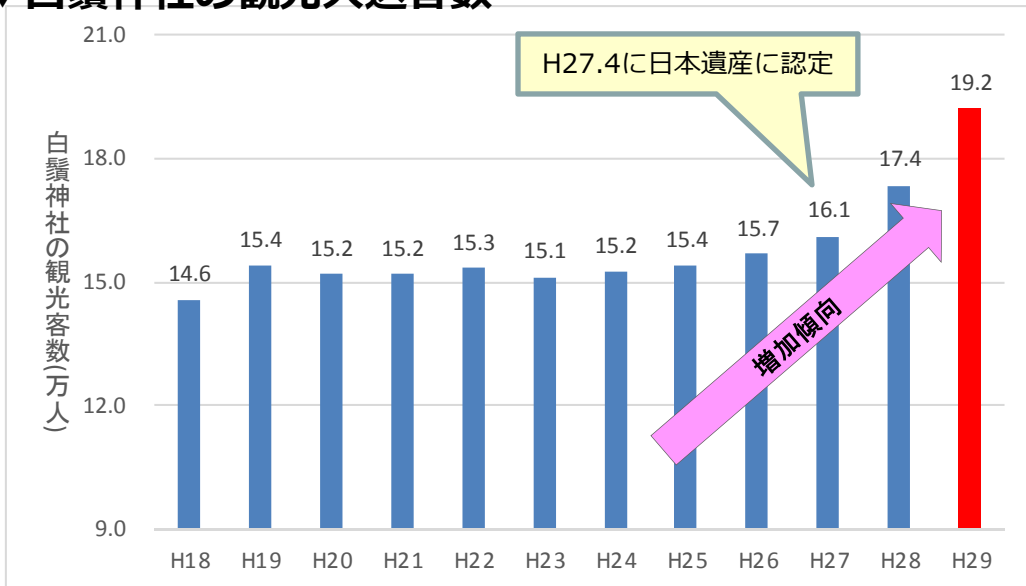
白鬚神社は、滋賀県の中でも唯一の光る観光名所ですので、交通課題を解消し、更に資源に磨きをかけて光らせないといけない。
（（公社）びわ湖高島観光協会 会長）

3 地域の現状と課題<事故危険性>

- 国道161号沿道には、平成27年4月に日本遺産に認定された白鬚神社が存在し、観光客が増加。(約19万人/年)
- 白鬚神社前では、鳥居の写真撮影をするために観光客の横断が多く非常に危険な状況(県内直轄国道平均死亡事故率の5倍以上)。また、観光客の増加に伴い、死傷事故件数が増加し、急ブレーキ挙動も多く、事故危険性が高い。
- 平成29年6月に、滋賀県警は、白鬚神社周辺を※レッドゾーンとして初めて指定し、事故削減を目指している。

※レッドゾーン: 滋賀県警が人身事故が多発した区域を指定(H30.3時点で36箇所)し、事故防止、取り締まり強化などを徹底する各種対策を推進

▼白鬚神社の観光入込客数



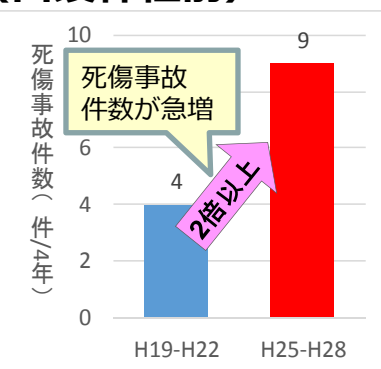
出典: 白鬚神社の観光入込客数推移データ(高島市提供)

▼現地状況(観光客の往来・駐車場の利用状況)

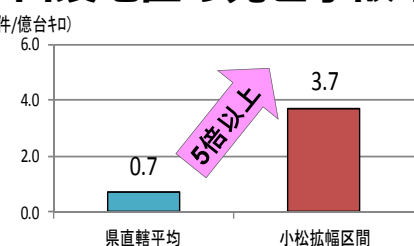


※撮影日: 2017年5月21日(日)

▼死傷事故件数の推移(白鬚神社前)

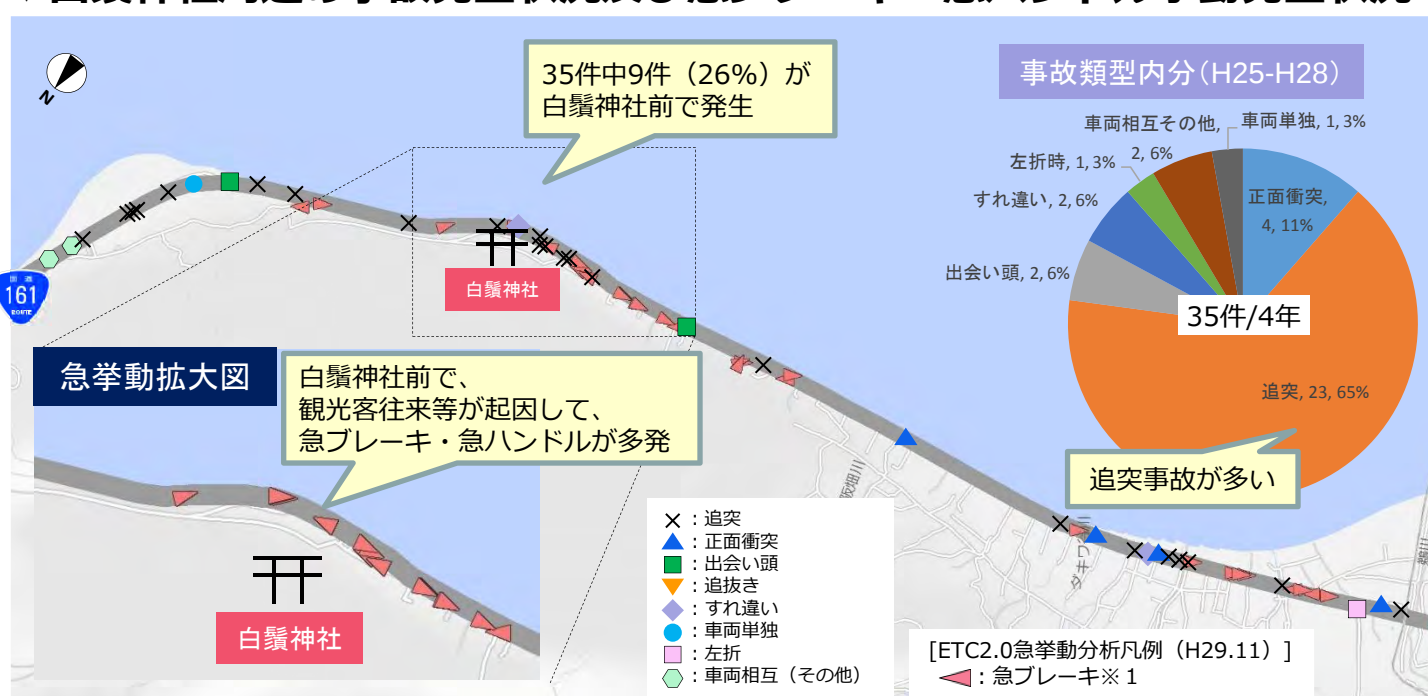


▼白鬚地区の死亡事故率



出典: イタルタデータ

▼白鬚神社周辺の事故発生状況及び急ブレーキ・急ハンドル挙動発生状況



出典(挙動図): ETC2.0急挙動データ(H29.11)

出典(事故図): H25-H28事故図

▼滋賀県警HP

あなたの街のレッドゾーン

警察署	レッドゾーン指定区域
大津	国道1号 津坂一丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
草津	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
守山	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
甲賀	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
近江八幡	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
東近江	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
彦根	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
米原	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
長浜	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
木之本	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
高島	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境
大津北	国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境 国道1号 津坂三丁目交差点～津坂西境

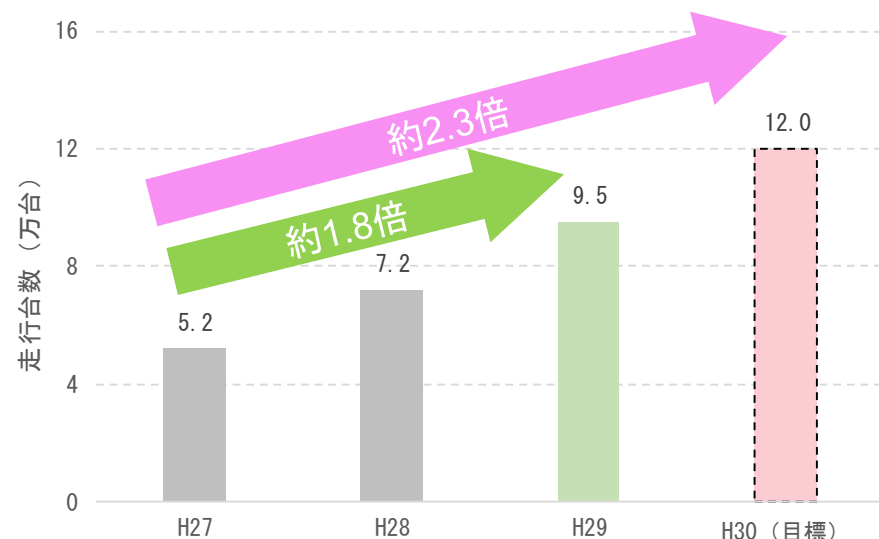
脳内運転やスマートフォンを操作しながらの運転は事故のもと！
レッドゾーンでの注意はもちろん、常日頃から交通ルールを順守しましょう！

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるよう協力ください。
TEL 077-522-1231(代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp

3 地域の現状と課題<事故危険性>

- H27からH29のびわ湖一周サイクリング自転車走行台数は約1.8倍に増加。(H30年は、約12万台を目指す)
- びわ湖一周サイクリング利用者が危険に感じた箇所は、白鬚神社周辺を含む高島～堅田の区間が突出して多い。
(当該区間の中で、半数以上が白鬚神社周辺が危険と回答)
- 危険と感じた道路・交通状況についての主な意見は「道路・路肩が狭い」「交通量の多さ」であった。

▼びわ湖一周サイクリング自転車走行台数



出典：滋賀県提供資料

▼現地状況写真

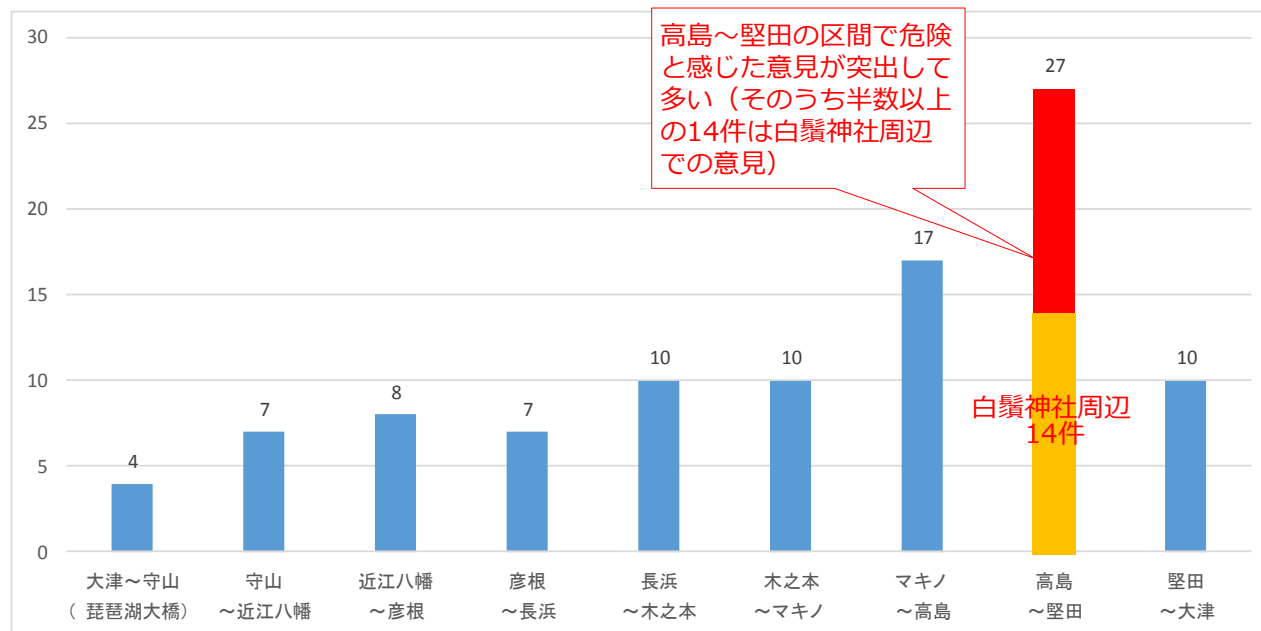


※撮影日：平成29年5月21日（日）

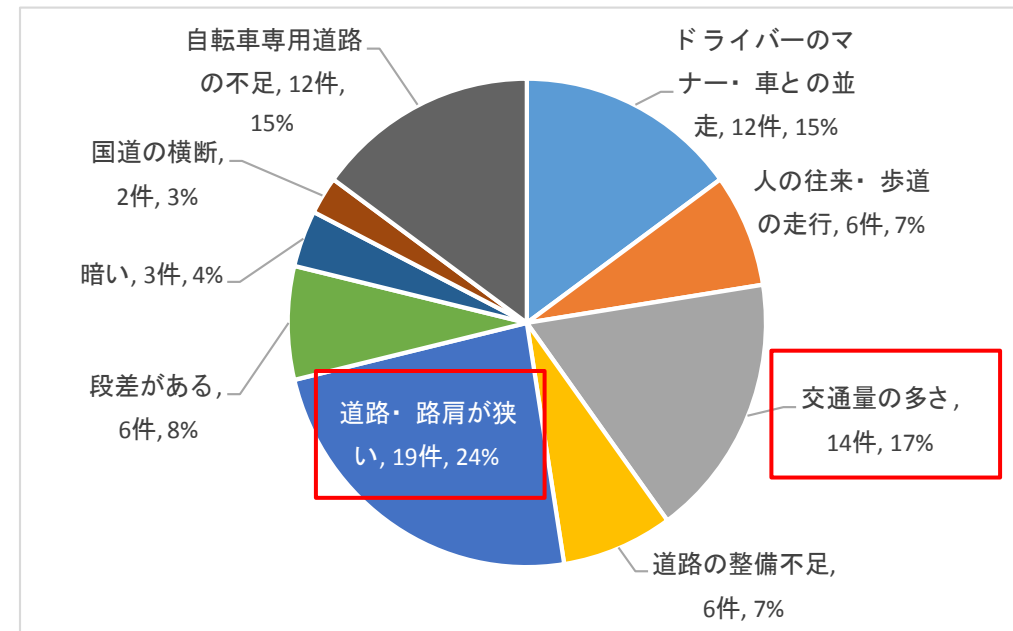


※撮影日：平成29年5月21日（日）

▼びわ湖一周サイクリング利用者の危険と感じた箇所（区間毎の意見数、道路・交通状況の意見数・割合）



※平成27年度 びわ湖岸でのサイクリストへのアンケート

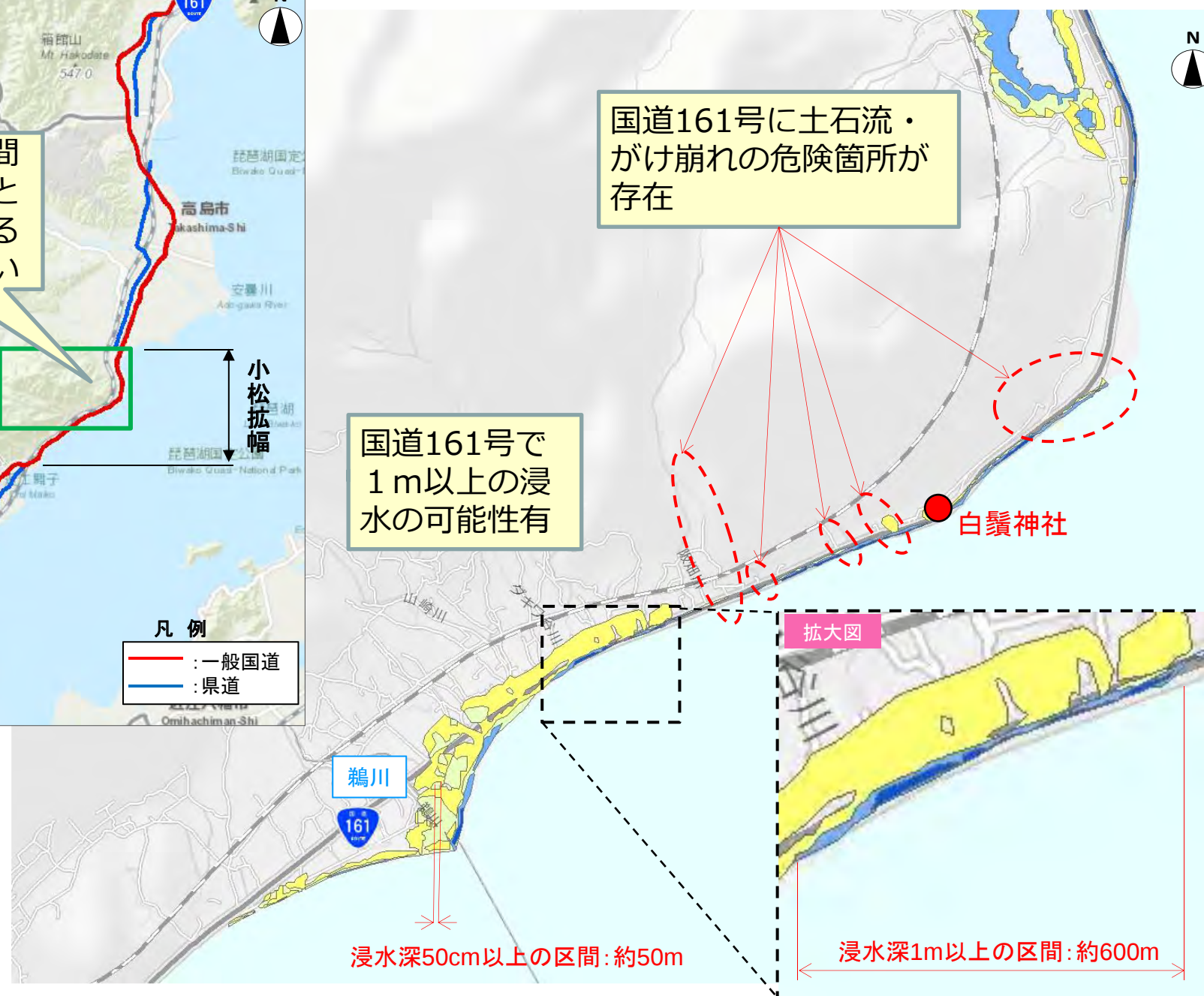


※平成27年度 びわ湖岸でのサイクリストへのアンケート

3 地域の現状と課題<防災>

○国道161号に並行する幹線道路がないことから、大規模災害時による土石流・がけ崩れ(5箇所)や大雨発生による琵琶湖からの浸水の影響(1m以上浸水する区間:約600m)など、災害時に緊急輸送路として機能しない。

▼高島市の被害想定



自動車は浸水深が30cm以上の箇所を通行することができない。

浸水深と自動車走行の関係

- ・浸水深が30cm以上のところを通過しようとするとエンジンが停止し、車から脱出を図らなければならない状態となる。
- ・50cm以上になると車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。

出典：国土交通省 川の防災情報

○ : 土砂災害特別警戒区域

【浸水想定区域凡例】

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

警戒区域出典：高島市土砂災害ハザードマップ

浸水想定区域出典：琵琶湖浸水想定区域図 (H17.9)

※琵琶湖河川事務所作成

4 政策目標の設定

4 政策目標の設定(地域・道路交通の課題整理)

○白鬚神社は日本遺産に認定され、観光客は増加傾向。高島地域全体でみると横ばい傾向。

○湖西地域の広域道路網では、小松地域のみ2車線で混雑度が高く、休日に渋滞が発生するため、白鬚神社等の観光ポテンシャルが低下。

観光振興による
地域活性化

○白鬚神社前で事故が集中（事故が増加）するため、白鬚神社前をレッドゾーンとして指定。

○びわ湖一周サイクリング利用増加に伴う自転車走行環境の改善。

交通事故の
軽減

○大雨発生による琵琶湖浸水が懸念。

○大規模災害による土砂災害が懸念。

災害に強い
まちづくり

○「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」等が施行・策定。重要文化的景観の保全及び整備等が盛り込まれた。

琵琶湖の
保全・再生

4 政策目標の設定(地域の将来像)

項目	地域の将来像
観光振興による 地域活性化	○豊かな地域資源を活かした観光や交流が展開され、地域が活性化（滋賀県基本構想） ○観光で国内・海外に「高島」を伝えます（高島市総合計画） ○文化、産業、観光等の広域的な人・モノの交流の活発化に向けて、関係道路網の整備を促進（高島市都市計画マスタープラン） ○交通渋滞、災害時や救命救急などの緊急時における広域輸送手段の脆弱性の解消（高島市都市計画マスタープラン） ○観光で人が集い、にぎわうまち（大津市総合計画） ○広域的な観光交流をはじめ、防災機能などを強化していくため、地域高規格道路、高規格幹線道路の整備を促進（大津市都市計画マスタープラン）
交通事故の 軽減	○事故のないまちづくり（滋賀県基本構想） ○交通事故の抑制（滋賀県道路整備マスタープラン） ○安全で便利な公共交通・道路網を構築します（高島市総合計画） ○安心、安全に暮らすことのできるまち（大津市総合計画） ○安全・安心・快適都市（大津市都市計画マスタープラン）
災害に強い まちづくり	○地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり（滋賀県基本構想） ○異常気象時や災害時における信頼性の高い道路整備（滋賀県道路整備マスタープラン） ○暮らしの安心を守る環境を整えます（高島市総合計画） ○交通渋滞、災害時や救命救急などの緊急時における広域輸送手段の脆弱性の解消（高島市都市計画マスタープラン） ○災害に強いまちづくりの推進（大津市総合計画） ○安全・安心・快適都市（大津市都市計画マスタープラン）

4 政策目標の設定

■ 政策目標・留意事項の設定

- 地域・道路交通の現状と課題、地域の将来像を踏まえ、政策目標を3つ、留意事項を1つ設定

地域の現状と課題

道路交通の現状と課題

地域の将来像

政策目標

観光振興による地域活性化	通過交通(京阪神方面)と生活・観光交通の円滑化(渋滞解消) 国道161号のトラフィック機能と観光交通等の現道活用を確保
交通事故の軽減	白鬚神社付近の交通事故多発地域における通過交通の排除による事故の削減
災害に強いまちづくり	災害時に機能するネットワークの確保(リダンダンシーの確保)

留意事項

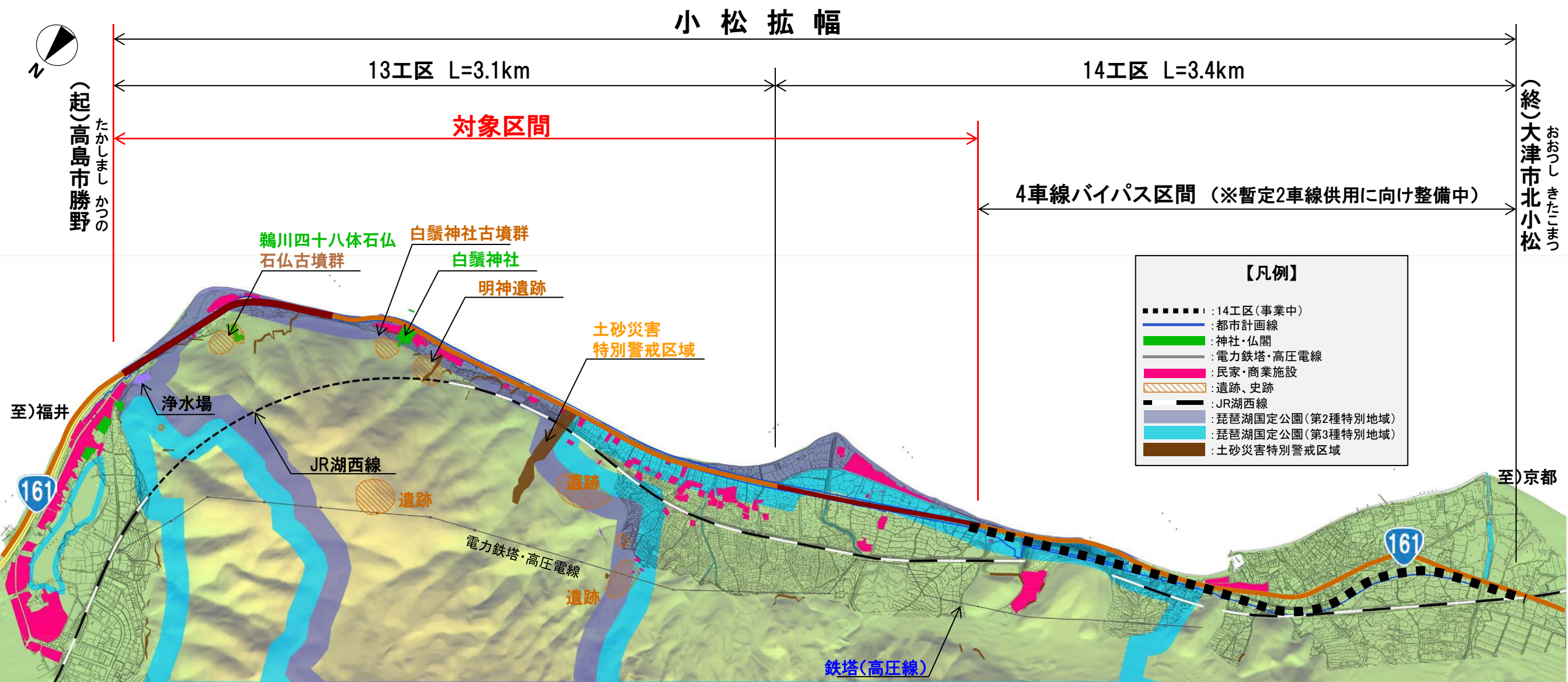
琵琶湖の保全・再生	琵琶湖再生計画との整合
-----------	-------------

■ 今後の検討内容

- 地域の課題解決に向けた幹線道路の役割を把握し、政策目標の妥当性を確認するため意見聴取を実施

5 複数案の比較・評価

○ルート帯を検討する上で主要なコントロールポイントとして、神社・仏閣、電力鉄塔、集落、商業施設、土砂災害警戒区域及び古墳群等の遺跡などに配慮したルートとする。



※「遺跡」、「古墳群」、「国定公園」、「土砂災害警戒区域」は以下の文献を参照

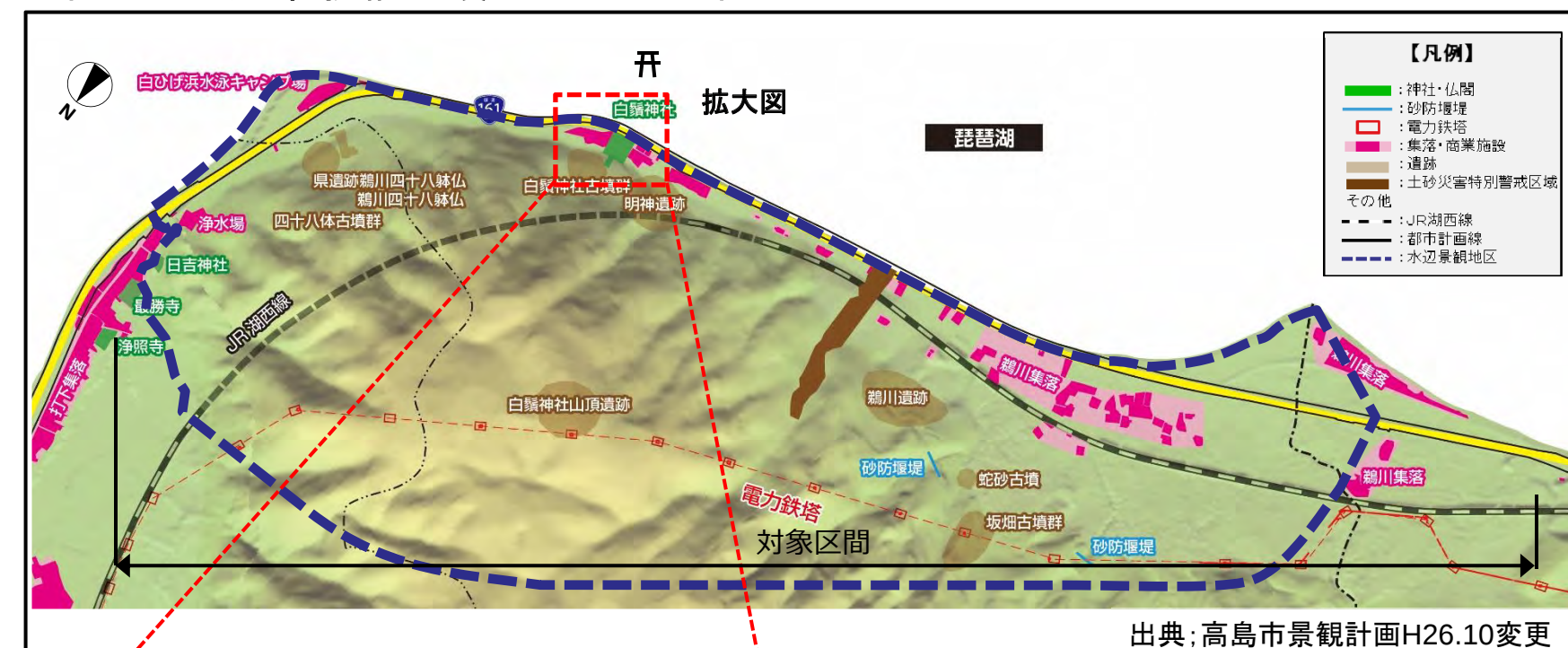
■参考資料;

1. 高島市景観計画(高島市)
2. 高島市遺跡地図(高島市)
3. 滋賀県遺跡地図(滋賀県)
4. 高島市土砂災害ハザードマップ(高島市)
5. 自然公園マップ(滋賀県 琵琶湖環境部 自然環境保全課)

5 複数案の比較・評価（山側現道拡幅の検討）

- 国道161号沿道沿いには、国の重要文化財に指定された^{しらひげじんじゃほんでん}白鬚神社本殿や高島市指定文化財建造物が立地。
- ^{しらひげじんじゃ}白鬚神社を含む一帯が、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」に認定されている。
- ^{しらひげじんじゃほんでん}白鬚神社本殿等は重要文化財等に指定されており、移設は困難であるためルート構造不成立。

▼国道161号小松拡幅 ^{しらひげ}白鬚地区ルート 位置図



▼^{しらひげじんじゃ}白鬚神社周辺の様子



▼重要文化財、日本遺産について

- ①重要文化財（白鬚神社本殿） 文化庁HP参照
国は、文化財保護法に基づき重要なものを国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物等として指定、選定、登録し、現状変更や輸出などについて一定の制限を課す一方、保存修理や防災施設の設置、史跡等の公有化等に対し補助を行うことにより、文化財の保存を図っている。
- ②日本遺産 文化庁HP参照
地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。
- ③登録有形文化財 文部科学省HP参照
建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、原則として建設後五十年を経過し、かつ、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」、「造形の規範となっているもの」、「再現することが容易でないもの」のいずれか一つに該当するものについて指定し保存及び活用を図る。
- ④高島市文化財保護条例 高島市HP参照
歴史上または芸術上価値の高いもの、ならびに考古資料およびその他の学術上価値の高い歴史資料を文化財に指定し、保存及び活用のために必要な措置を講じる。

▼文化財登録年表

昭和13年	^{しらひげじんじゃほんでん} 白鬚神社本殿が重要文化財に指定（文化庁）
昭和55年	^{わかみやじんじゃ} 若宮神社が高島市指定文化財に指定
平成12年	^{やちまんさんしゃ・てんしやうほうじんぐう・とよ} 八幡三社・天照皇大神宮・豊受大神宮が高島市指定文化財に指定
平成14年	^{しらひげじんじゃしゃむしょ} 白鬚神社社務所が国の登録有形文化財（建造物）に指定（文部科学省）

^{しらひげじんじゃ}白鬚神社位置の拡大図

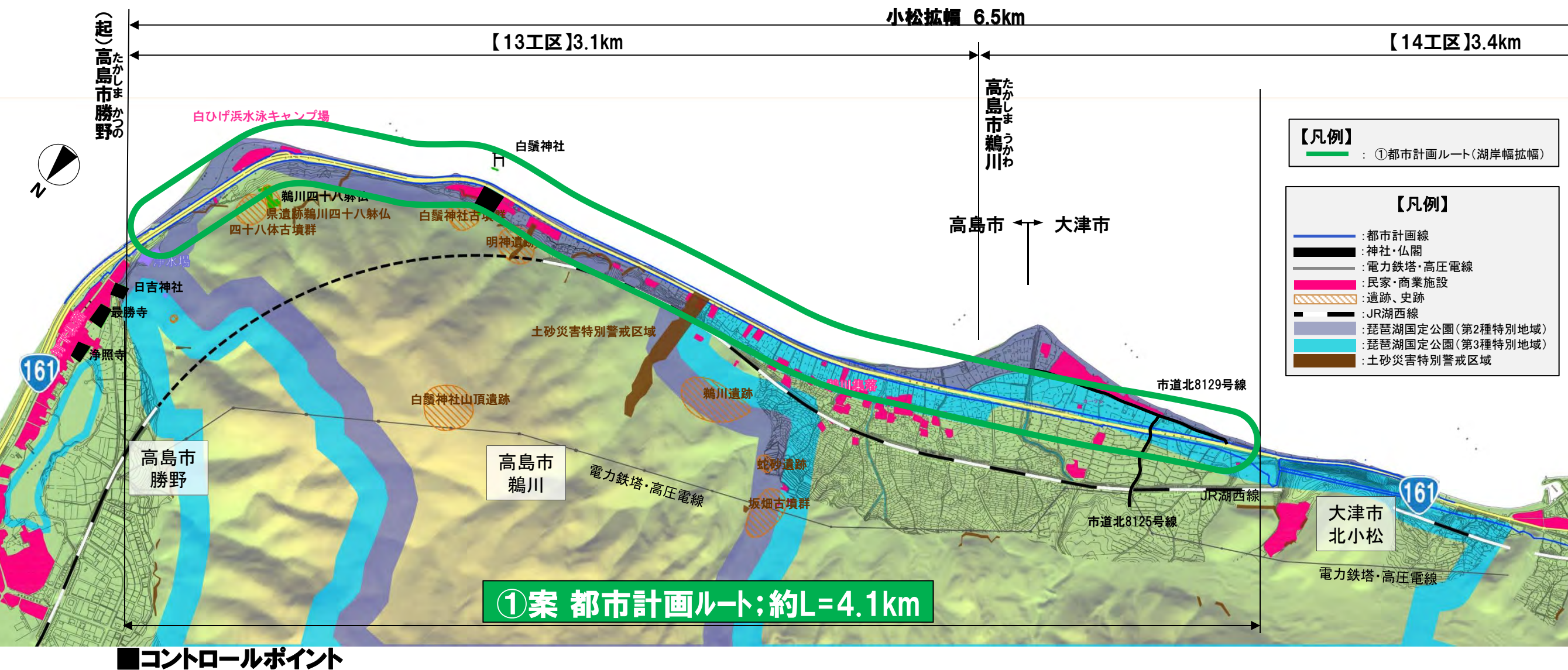


5 複数案の比較・評価 (①案 都市計画ルート)

- 現道(対面2車線)を4車線に湖岸側に拡幅し、交通容量を拡大する現都市計画道路案。
- 考慮すべき事項として、古墳群等の遺跡の自然的及び社会的状況に配慮する。

【特徴】 都市計画 ルート

- ⇒京阪神と北陸圏を繋ぎ、湖西地域の幹線道路ネットワークとして「交通混雑の緩和」「交通安全の確保」「産業の促進」を図る。
- ⇒容量増加(多車線化)により渋滞緩和は図れるが、生活道路により多くの通過交通が混在することとなるため、交通安全に課題。
- ⇒「琵琶湖保全再生計画」により琵琶湖への張り出し構造は、湖岸の自然環境への影響を考慮すると極めて困難であるが安価。



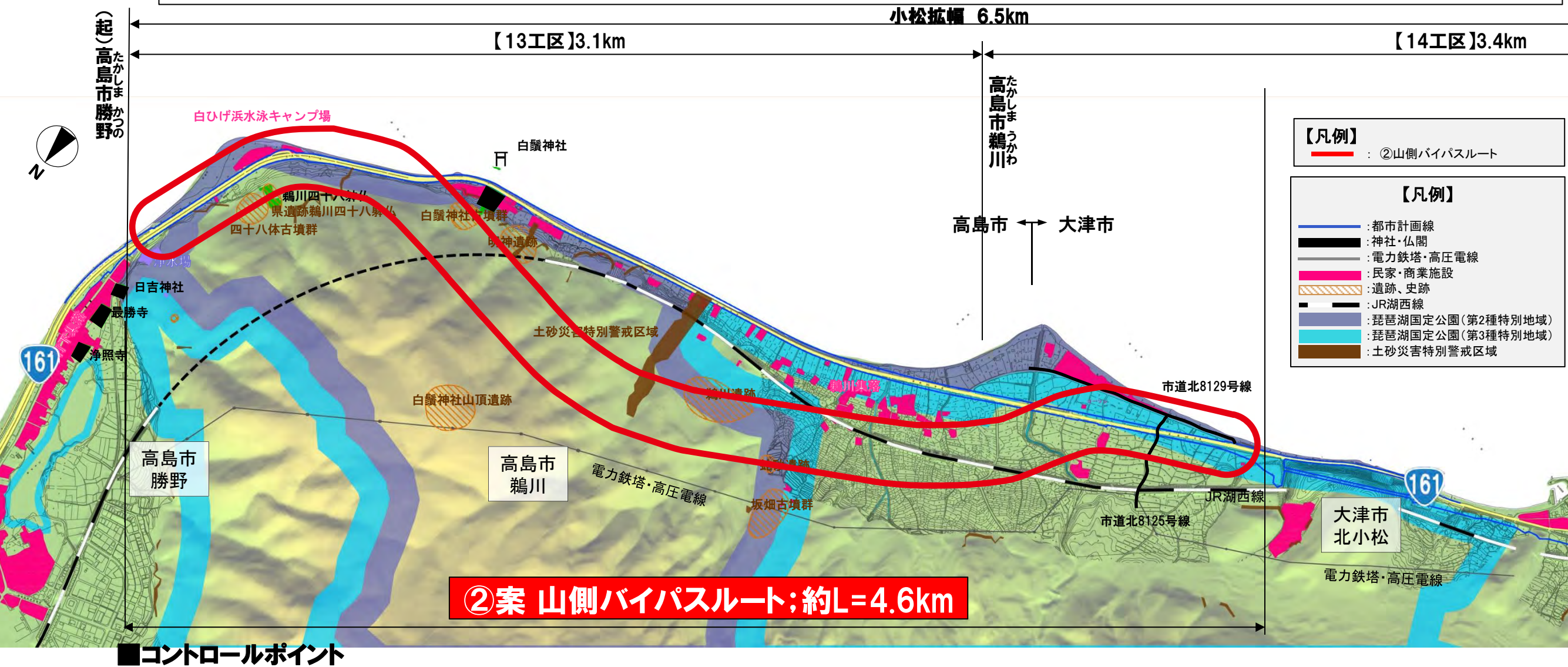
自然的状況による要因	古墳群等の遺跡
社会的状況による要因	JR湖西線、電力鉄塔、浄水場、鵜川集落、白鬚神社(重要文化財、日本遺産)
起終点	一般国道161号
接続道路	市道北8125号線、市道北8129号線

5 複数案の比較・評価 (②案 山側バイパスルート)

- 琵琶湖保全再生計画を踏まえた琵琶湖の生態系及び湖岸等への影響を回避するため、山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案。
- 考慮すべき事項として、土砂災害特別警戒区域や古墳群等の遺跡などの自然的及び社会的状況に配慮する。

【特徴】 山側バイパス ルート

- ⇒京阪神と北陸圏を繋ぎ、湖西地域の幹線道路ネットワークとして「交通混雑の緩和」「交通安全の確保」「産業の促進」を図る。
- ⇒生活、通過交通の機能分離を図り、現国道の交通低減により「交通安全の確保」と、渋滞解消による「交通の円滑化」を図る。
- ⇒白鬚神社、琵琶湖、鵜川集落などを避けた山側を通るため、生活環境、地域観光資源への影響が少ない。



自然的状況による要因	古墳群等の遺跡
社会的状況による要因	JR湖西線、電力鉄塔、浄水場、鵜川集落、白鬚神社(重要文化財、日本遺産)
起終点	一般国道161号
接続道路	市道北8125号線、市道北8129号線



評価軸		現道拡幅案	バイパス案
		【①案】都市計画ルート（湖岸側拡幅ルート）	【②案】山側バイパスルート
政策目標	観光振興による地域活性化	交通容量の増加（多車線化）に伴い渋滞は解消するが、通過交通と白鬚神社付近への観光交通のトラフィック機能の棲み分けが十分に図られない。	通過交通と白鬚神社付近への観光交通について、バイパスと現道でトラフィック機能の棲み分けが図られ、交通容量の増加（バイパス化）に伴い渋滞も解消される。
	交通事故の軽減	現道4車拡幅整備のため、通過交通が変わらず現道を利用し、白鬚神社付近の交通事故の軽減がされず、またびわ湖一周サイクリング利用者の危険性が改善されない。	通過交通がバイパスに転換し、白鬚神社付近の交通事故の削減がされ、びわ湖一周サイクリング利用者の危険性は改善される。
	災害に強いまちづくり	現道4車拡幅整備のため、現道沿いに点在する、大規模災害による被災が懸念される土砂災害特別警戒区域や大雨による琵琶湖の浸水エリアを回避できないため、災害時の緊急輸送路としての機能が確保されない。	バイパスにより、現道沿いに点在する、土砂災害特別警戒区域及び浸水エリアを回避することができ、災害時の緊急輸送路としての機能が確保される。
留意事項	琵琶湖の保全再生	湖岸側への現道拡幅により、琵琶湖保全再生計画に基づく湖岸の自然環境の改変を伴い、影響は大きい。	バイパスにより、琵琶湖保全再生計画に基づく湖岸の自然環境への影響はなく、現道の交通がバイパスに転換することにより、沿道地域から琵琶湖への親水性が高まる。
その他	施工性	民家商業施設が連担する現道での施工となるため、工事中の民家等への近接施工および現道交通の通行規制など影響が大きい。	構造物が連続するものの、現道から離れた施工のため、障害物件が少なく、施工が比較的容易である。
	自然環境への影響	国定公園である琵琶湖内部への現道拡幅により、湖岸を含む琵琶湖の自然環境への影響は大きい	バイパスにより、国定公園の地形改変が生じるが、その影響範囲は小さい。
	影響する家屋数	0棟	0棟
延長		約4.1km	約4.6km
コスト		約80億～130億	約300億～350億

6 地域への意見聴取方法

設定した政策目標及び留意事項の妥当性を確認するため、
 自治体・各業界団体や地域住民などを対象とした丁寧な意見聴取を実施

実施項目	意見聴取の目的	対象
行政への ヒアリング	■ 地域の課題や解決に向けた方向性についての行政計画との整合性の確認 ■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認	■ 滋賀県 ■ 沿線自治体 （高島市・大津市）
各業界団体 へのヒアリング	■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認	■ 警察、消防 ■ 商工会議所等の経済団体 ■ 観光協会等の観光業、 バス協会・トラック協会等物流業 計 6 団体程度
住民代表への ヒアリング	■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認	■ 地域住民代表、自治会長 （自治体と相談）
オープンハウス	■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認	■ 市役所、道の駅等 3 地区程度 （自治体と相談）

6 意見聴取実施方針（案）

■調査票

問1 普段、白鬚神社周辺の国道161号をどの程度利用していますか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	ほぼ毎日（週4～7回）	2	週に数回程度（週2～3回）
3	月に数回程度（週1回未満）	4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない→「5」に○をつけた方は、問4へお進みください。		

問2 白鬚神社周辺の国道161号を通行する際の主な交通手段は何ですか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	自動車
2	公共交通（バス、タクシー）
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 白鬚神社周辺の国道161号を通行する際の主な目的は何ですか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は（ ）内に具体的な内容をお書きください。

1	通勤・通学
2	仕事（営業・商談・運送など）
3	私用（買物・食事・通院など）
4	レジャーなど
5	その他 （ ）

問4 ルートを検討する際に重視すべき事項は何ですか？

①ルートを検討する際に重視すべきと考えられる下記事項について、5段階（そう思う～わからない）で評価してください。
A～Gのそれぞれについて、該当する箇所に1つだけ○をつけてください。

重視すべき事項		そう 思う	やや そう 思う	あまり そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
A	安定した移動時間で目的地まで早く行くことができ、かつ観光施設間の連携が強化されること	1	2	3	4	5
B	交通事故が少なく、現道を安全に走行できること	1	2	3	4	5
C	災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること	1	2	3	4	5
D	白鬚神社や琵琶湖などの周辺景観への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
E	工事中における通行規制などによる現道への影響が少ないこと	1	2	3	4	5
F	湖岸を含む琵琶湖の自然環境に与える影響が小さいこと	1	2	3	4	5
G	整備費用が小さいこと	1	2	3	4	5

②あなたが、上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問5 あなたご自身の事について教えてください。

お 住 ま い		性 別	年 齢
_____都・道・府・県_____市・区・町・村 〒_____		男性・女性	_____歳

～ご協力、ありがとうございました～